

技術提案募集：街路樹の効率的な診断技術

求める技術	概要	
街路樹の効率的な診断技術	<p>現状 ・ 問題点</p>	<p>・街路樹の倒木を予防するため、徒歩パトロールによる目視点検や揺さ振り点検、必要に応じて点検機器を使用した精密診断を実施しているが、多大な労力を要している。</p>
	<p>ニーズ (課題・条件等)</p>	<p>【課題】 ・目視点検や揺さ振り点検においては、府が管理する街路樹(高木)は約5万本あり、点検に時間と費用を要する。 ・点検機器を使用した精密診断においては、可能であれば樹木の空洞化状況を非破壊で診断したいが、非破壊検査が可能な機器は1本当たりの点検時間や費用が高額であるため、一部破壊検査で実施している。</p> <p>【条件】 ・目視点検や揺さぶり点検が効率的に実施できる手法 ・短時間・低コストで実施可能な非破壊検査</p>